

行政書士講座

試験概要

受験資格

制限なし

全国合格率

13.98%

(2023年度)

募集要項

▶申込期間は延長する場合がありますので、関大生協ホームページを随時確認してください。
▶受験料については各試験団体にお問い合わせください。

講座ガイダンス

詳細はこちらからご確認ください



講座名	開講時期	受講形態	申込期間	開講期間	受講料	試験日
行政書士講座	4月(74回)	Webライブ (Webフォロー付)	4/1(火)~4/18(金)まで	4/25(金)~11/8(土)	150,000円	11/9(日)※予定

学習スケジュール(開講期間)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

行政書士とは

行政書士は、法律知識をフル活用して顧客をトータルサポートする専門家です。官公署へ提出する書類の作成(許認可申請書類、遺言書、契約書など)や手続きの代理(行政不服申し立て)を行う国家資格です。幅広い法律知識を活かせることから、学部・学年を問わず学習する学生が多いのが特徴です。また、公務員を目指す1・2年生が学習項目の重複を活かし先取り学習に活用するケースもあります。



行政書士を取得するメリット

就職の際、様々な
法律に精通している
ことが証明できる

独立開業を含め
将来のキャリアの
選択肢が広がる

習得した知識を行政書士
以外の法律系資格の
学習に活かすことができる

重複科目の多い
公務員試験の先取り学習
としても役立つ

行政書士の学習内容

行政法

行政の活動等について
定めた法です。

全体の約37%の配点

民法

身近な法律上の
ルールについて学びます。

全体の約25%の配点

憲法

我が国の基本法です。

全体の約9%の配点

商法

商取引や会社の組織・運営等
について定めた法です。

全体の約7%の配点

基礎
法学

法律を学ぶ上で知っておくべき
基礎的な知識を学びます。

全体の約3%の配点

基礎
知識等

一般知識、諸法令、情報通信、個人情報保護、文章理解といった
行政書士の業務に関し必要な基礎知識が問われます。

全体の約19%の配点



●様々なフィールドで活躍できる行政書士

行政書士の資格を取得するためには、多くの法律知識が必要であるため実際の仕事現場で活かせるものが多く存在します。行政書士の職業に就かない場合でも、習得した知識で様々なフィールドで活躍できるため、在学中の取得で働き方の選択肢が広がる資格です。

●行政書士の活躍フィールド

一般企業:企業(特に大企業)では各種契約やコンプライアンス、顧客対応などを法的に判断する法務部門を設置していくケースが多く、行政書士資格の学習で得た専門的な知識を活用することができます。

独立開業:一度合格すればいつでも独立開業が可能であり、学生の方は在学中に資格を取得しておけば、卒業後間もない開業も夢ではありません。